

無実の死刑囚・元プロボクサー 袴田 巖さんを救い出そう！

みそ漬け五点の衣類は、明らかな警察の捏造です！

7月24日 第1回三者協議に集まろう！

日時：7月24日(金) 午後1時～ 集合場所：静岡地裁前

昨年4月25日に、第二次再審申立以降、静岡地裁は事実上この申立を放置していました。高齢の袴田さんを考えると、あまりにもひどい仕打ちです。今回の三者協議の開始で一日も早い再審開始の決定を勝ち取らねばなりません。

静岡地裁は一日も早く再審開始を！

「矛盾だらけ」の判決を暴く、例会に参加を！

日時：8月1日(土) 午後7時～9時 場所：清水辻公民館 第一会議室

私たちは 毎月第一土曜日、午後7時から、清水辻公民館(生涯学習交流館)で例会を行っています。

参加は、どなたでも自由です。参加費も不要です。

袴田事件に関心をお持ちの多くの方の参加をお待ちしております。

えん

冤罪は 警察官・検察官・裁判官による“犯罪”です！

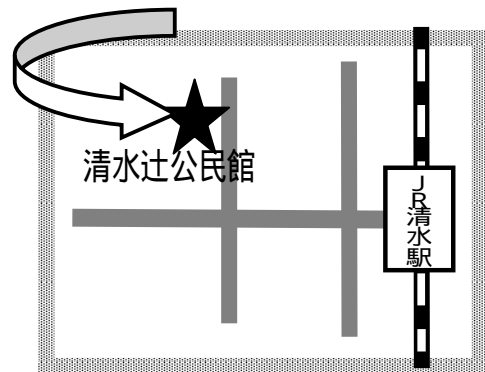
足利事件 でも明らかなように、冤罪は 警察官と検察官が作り上げた偽物を、裁判という名で本物らしく見せかけ、無実の人を有罪にしていくという、明らかな人災・・・いや、犯罪といっても過言ではありません。

理由も告げない、強制連行・・・深夜までの取り調べ

私たちは先日、足利事件の菅家さんと同様、富山(氷見)冤罪事件の被害者である柳原さんから、警察のでっち上げの恐ろしい手口を知らされました。

富山(氷見)冤罪事件とは、02年に起きた強姦事件と強姦未遂事件です。当時タクシー運転手だった柳原さんが、4月8日朝、仕事の準備に取りかかっているところに、ガラの悪い男6人が訪れ、「ちょっと来い」と肩を捕まれ有無を言わず車に乗せられました。それが警察官だと判ったのは車に乗せら(裏面に続く)

袴田巖さんを救援する 清水・静岡市民の会 TEL:054(366)2468 FAX (366)2475



れた後でした。任意の名の強制連行で逮捕ではありませんでした。

しかし、連行した理由も、何の容疑かも一切告げることなく、一方的に「何で連れてこられたかわかるだろう」「犯人はお前だ」と深夜11時まで取り調べました。トイレに行った際、携帯電話で肉親に連絡をしたら、翌日は携帯電話も取り上げられました。

翌9日も、朝早く自宅に警察官が来て「よく逃げなかったな」と言い、前日同様の警察署への強制連行で再び深夜までの取り調べです。このころ、自分は強姦容疑での調べられていることが分かったそうです。

確かな証拠に基づかない取り調べと密室で自白の強要

そして、6日後の4月15日朝、再び警察署に強制連行され、取調室に押し込まれました。その中は異常に暑く、耐えられず失神したそうです。あまりの気分の悪さの中で、無理矢理「やりました」と自白させられ、すぐに「逮捕」されました。証拠は似てもにつかない似顔絵1枚です。



えん罪被害を語る 柳原 浩さん (09.6.28 清水テルサ)

「絶対に“おとせ!”」「“はい”と“うん”以外に言うな!」

逮捕された後、柳原さんは裁判官の勾留質問で「私はやっていません、無実です」と訴えました。警察署に戻された後、取り調べの警察官は、机を壊れるほど叩き、怒鳴りまくりました。検察官も警察官に電話で「絶対におとせ!(自白させろ)」と電話機から聞こえる大声で怒鳴って指示したのです。

その後の取り調べでは、“はい”と“うん”以外は言うなと、警察官に脅され、警察官が作った調書に対しては「はい」と「うん」以外に何か言おうとすると、拳を振りかざし殴らんばかりの態度であったため、何も言えなかった。このように柳原さんは語っています。

えん罪は権力犯罪です・・・それに手を貸すのが裁判官なのです!

このように、警察官と検察官は密室で無実の人を犯人に仕立て上げていくのです。これは、人災ではありません、権力を持つ公務員の犯罪なのです。

そしてこの権力犯罪の最後の仕上げをするのが裁判官なのです。柳原さんの場合は、犯行時間帯に携帯電話で通話をしていた記録でアリバイが証明できました。足跡も大きすぎました。しかし、裁判では、警察に都合の悪い証拠は全て検察官が隠しました。

有罪率99.9%・・・日本の裁判では無実を訴えても、有罪なのです

警察や検察官のでっち上げで、誰でも冤(えん)罪の被害者になる可能性があるのです。

日本の裁判で無罪になる確率は0.05%以下(否認の場合は約2%) つまり逮捕・起訴(裁判になること)されたら誰でも有罪なのです。

冤罪は他人事ではないのです。あなたも警察に逮捕され、検察官に起訴されると、裁判で「私は無実だ!」と叫んでも、ほぼ100%の確率で有罪判決が下されるのです。

袴田巖さんは、43年前、無実の罪で逮捕され、拷問同様の取り調べの中で、嘘の自白をしました。その後の裁判で、「私は無実です!」と訴えても、死刑が確定し、日々死刑の恐怖におびえています。何と残酷な仕打ちでしょうか。こんな事が私たちの国では平気で行われているのです。

問い合わせ先：**袴田巖さんを救援する 清水・静岡市民の会**

424-0006 静岡市清水区石川本町16-18 TEL054(366)2468 FAX (366)2475